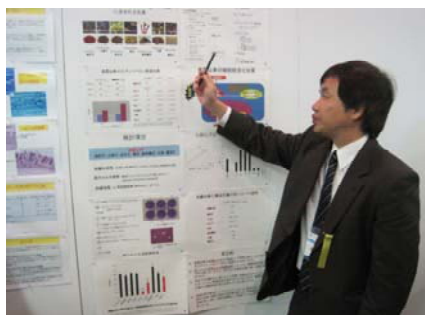


日本未病システム学会（沖縄：平成 22 年 11 月）

未病システム学会の会員は、医師、歯科医師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、看護師、保健師をはじめ多分野の方々に構成され、健康と病気の間「未病」の時期を新たに創設することで、将来の日本の医療・医学の問題解決を求めています。

この学会の研究と活動分野は、① 自覚症状はないが、検査では異常値を示す疾患の早期発見法とケアの研究、② 病気になりにくい人の研究および老化制御の研究、③ 医薬連携の新システムの研究、④ セルフプリベンションの場としての未病ファーマシーの創設、⑤ 機能性健康食品(未病食品)の検証と啓蒙、⑥ 発症前疾患の遺伝子診断法の確立、⑦ 国民皆保険制度の維持の検討などがあります。

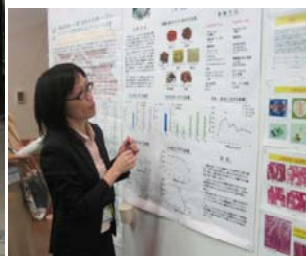


発表中の横溝先生

この中で、崇城大学の先生方の研究は、④および⑤の分野に該当します。これらの研究によって、未病の段階で健康を回復する事により、個人の生活の質(QOL)の向上のみならず、ひいては国民医療費の削減にも貢献することになります。



宮田教授



周助教